

素案に対する意見概要及び区の考え方

	区分	項目	意見概要	考え方
1	在勤	全般的事項	計画の中に「低炭素化」と「ローカーボン化」という言葉があるが、同じ意味で使っているのであれば、統一するなり注釈を入れるなどした方がよいのではないか。	ご指摘のとおり、「低炭素化」に統一いたします。
2	在住	全般的事項	千代田区は、企業所有の建物が多いこともあり、主体的に取り組んでもらうことは重要だが、支援と共に強制力のあるものにしていく必要がある。この方法を考えてほしい。	大規模な事業所においては、法律や東京都の条例において、省エネやCO2削減が義務付けられています。また、新規の建物を建設する際には、都および区において、建築物環境計画書の提出を義務付けています。 また、「温暖化配慮行動計画書制度」では、従業員300人以上の事業所に温暖化配慮行動の実施状況や計画の報告を義務付け、事業者の温暖化配慮行動の促進を図っています。
3	在勤	全般的事項	千代田区が【区を挙げての環境へ配慮した取り組み】を推進する際には、数値目標や実績も大切ではありますが、区に取り組む姿勢そのものに本来の価値があると思います。千代田区の特徴として、経済・行政機能集積地であること、また、夜間人口が少なく、文教施設が多く集まるなどの特性を踏まえた場合、製造業者を多く抱える他自治体との環境に対する配慮・改善対策等は異なって然るべきではないでしょうか。 千代田区では第2期行動計画において引き続き＜削減目標値＞が設定されましたが、＜CO2削減＞自体は既に2011年度までに、かなりの成果を上げており、他自治体をけん引する区・本来のリーダー的役割は十分果たしていると思います。むしろ、【大丸有地区】の「生グリーン電力」への切り替え等の画期的取り組みを、より一層推進される政策として掲げられることを期待致します。 常に時代の一步先を見据えつつも、人と共に歩を進める＜環境や人にやさしい＞政策を推進する千代田区ならではの取り組みを熱く見守り、今後とも、陰ながら応援してゆきたいと存じます。	千代田区では、25%削減の数値目標を掲げ、目標の達成を目指して取り組んでいますが、一方で、施策の推進にあたっては数値や実績にだけとらわれるのではなく、区の特性を活かした取り組みを推進していくことも重要であると考えています。 電力調達に際しては、ご指摘いただいた生グリーン電力も含め、電力供給の動向を踏まえながら、環境負荷の低減に向け、区が率先して取り組むとともに、区内事業所に対しても促進を図りたいと考えています。
4	在勤	全般的事項	資料を公表し意見を募るのであれば、もう少し簡潔にまとめてもらえるとう一般の我々にも読みやすいです。 千代田区に取り組んでいる内容はこの資料で理解できますが比較対象のデータ、資料があるとさらによいと思います。	意見の募集にあたっては、素案の概要を作成し公表しました。今後計画をまとめるにあたり、内容を要約した「概要版」を作成し、わかりやすい計画づくりに努めます。
5	在勤	全般的事項	CES等素晴らしい取り組みではあると思いますが、その他は独自性が少しわかりづらいです。当たり前のことをやることはもちろん大事ですが、東京都との二重行政になっていないかチェックが必要だと思います。	CESを始めとして、区では独自の施策展開を図っておりますが、これらを周知・発信していくことが重要であると考えています。 また、建築物環境計画書制度では、東京都の報告対象から外れる中小事業者を対象として区への報告の義務付けを行うなど、都と区の役割分担を図りつつ、連携を持ちながら施策を推進しています。

6	在勤	全般的事項	行動計画に「教育」という考えは含まれないのか。たとえばⅢ-5の波及効果的なことに位置付けられないものか。	「Ⅲ-4-b地球温暖化対策に係わる教育の推進」において、区民や学校を対象とした教育を位置付けております。
7	在住	全般的事項	素案で結構だと思います。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。
8	団体	1-2-①削減目標	<p>区の実施計画によるCO2排出量の削減効果を把握するためには、排出係数を固定化させるのも、一つの方法であると考えられる。しかし、その年に排出されたCO2排出量は、その年の排出係数を使用しないと評価できない。</p> <p>CO2排出量を把握するため使用する排出係数は、当該年度の排出係数を使用すべきだが、外部要因の影響をある程度緩和させるため、当該年度を含む3年間の排出係数平均値を使用して評価するようにした方が良いのでは。</p>	<p>環境モデル都市行動計画における「排出係数」の取り扱いにつきましては、国からの指示により、すべての指定都市において「基準年度で固定」することになっています。</p> <p>ただし、その年に排出されたCO2排出量の把握については、これまでどおり当該年度の排出係数による進捗管理も並行して行っています。</p>
9	団体	2-1-①取組方針	<p>業務部門からのCO2排出量は、2012年度で75%を占め、その対策が急務と考える。そこで、本年4月から施行される改正省エネ法の省エネ対策を取り入れ、「取組方針」とするのが必要と考える。「改正省エネ法に適合する省エネ対策を施し、電力ピーク時間帯(8時～22時)に系統電力の使用量を削減する対策を実施しようとする事業者に対し、その取組みへの支援を行う。」という項目を、方針に追加したほうが良い。</p>	<p>「Ⅱ-5-d既成市街地における面的エネルギー利用の導入促進」において、クラウド型BEMSの導入促進を掲げており、ピークカット対策にも寄与するものと考えております。現在、区ではBEMS導入に対する助成も行っております。</p>
10	団体	2-1-② I-3 グリーンストック作戦【マンション版】	<p>既存マンションの耐震化により、建物自体が損傷をうけなくても、停電のため水の供給やエレベーターの運転が停止し、自宅での生活が継続出来なくなる可能性があります。このため、東京都ではLCP(Life Continuity Performance)住宅登録制度を実施しています。耐震性が担保できる建物であれば、停電時に必要最小限の電源を確保することで、区民が自宅で生活継続することが可能となることから、この取組を支援することが重要になると考えます。そこで、東京都LCP住宅の登録の文言の追加をお願いします。</p>	<p>ご提案いただきましたLCPの考え方は、p16の「モデルマンションに対するコンサルティング事業のイメージ図」にも、居住者に対する効果として「緊急時の安全、安心」として盛り込ませて頂いており、非常に重要な視点と認識しております。</p> <p>施策の実施に当たりましては、LCP登録制度も検討メニューの一つとさせていただきます。</p>
11	在住	2-1-② I-5-b 区内における地中熱利用促進事業	<p>再生可能エネルギーの熱利用では、いくつかの自然エネルギー源がありますが、都心で利用できるのは太陽熱と地中熱です。千代田区の場合は、熱利用の主な対象が民間事業所となりますので、冷熱と温熱が空調利用できる地中熱が最適だと考えます。</p> <p>地中熱の省エネ実績の評価はNEDOなどですでに公表されていますので、それらを参考にしながら迅速な取組を進めていただければ幸いです。千代田区に限らず、地方自治体は国に比べて一般にスピード感がないのが残念です。経済産業省、環境省、国土交通省の地中熱に関する政策は、千代田区の遙か先を進んでいます。区の政策として、導入実績を作りながら、実証データを出していく形での取組を要望します。</p>	<p>千代田区において地中熱は数少ない有望な自然エネルギーと認識しております。</p> <p>環境省の補助事業等を活用しながら、調査・検討を行います。</p>

12	在勤	2-1-②-2) 取組スケジュール	「高水準な建物のエネルギー対策の推進」の取り組みスケジュールが具体的であり、かつ実現可能であると思われる内容で評価できると思います。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。
13	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	<p>温室効果ガス排出軽減を目指すとのことですが、千代田区は駐輪場や自転車専用道路が少ないと思っています。その様な千代田区の目標としては現実味がないように感じます。</p> <p>千代田区に来る際に、駐車場はあるけど気軽に止められる駐輪場はないので、車で来ることも多々あります。温室効果ガス軽減の一歩として、区民と近隣区住民、ひいては観光に来た方々がタクシーで移動するのではなく気軽に乗れる自転車があると良いと思います。</p> <p>千代田区はそんなに遠くないところに見どころがたくさんある区だと思いますので、昼夜両区民、および観光客にとって身近な策である故、現実的に進めていただきたいと思います。</p> <p>ただ、コミュニティサイクル事業が単なるレンタルサイクル事業にならずに車の利用からの移行につながることを期待します。</p>	<p>コミュニティサイクル事業の実施に当たっては、ご指摘の通り、道路や駐輪場など、インフラの整備も並行して行う必要があると考えており、本計画でも施策として位置付けております。</p> <p>区民や来訪者等の皆様に使いやすいシステムを構築し、幅広く利用して頂けるものを目指してまいります。</p>
14	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	<p>街づくりの機会と場を活かした面的対策の推進に関する事項の中にある、『コミュニティサイクル事業』を是非とも早急に実施して頂きたいと思っております。以前、観光で訪れた金沢市やロンドンの街で、同じようなコミュニティサイクルを利用したことがあります。旅行者としてとても便利に使えたと同時に、環境に対する行政の努力と姿勢に共感を覚えました。</p> <p>この事業により、エコの観点プラス、住民および通勤、通学の為に千代田区を訪れる人々、観光でいらした方々の利便性にも繋がることと思っております。</p> <p>経済成長の一つとして、国内だけでなく海外からの観光客を増やそうという国の政策においても、東京の顔ともいえる千代田区のごこうした取り組みにより、利用して下さった諸外国の方が、行政の姿勢、ひいては日本の姿勢に共感を覚えてくださればありがたいと思っております。小さな積み重ねが、大きな流れになることを期待します。</p>	<p>コミュニティサイクル事業につきましては、平成26年度に実証事業の実施を予定しています。多くの皆様に快適に利用して頂けるよう、取組みを推進してまいります。</p>
15	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	<p>利用料金が1番の関心事だと思う。電車やタクシーを利用するよりも安ければ利用したいと思う。</p>	<p>ご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
16	在学	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	<p>利用料金が電車代より高いと、自転車を利用するのが大変だと思う。適度な料金で利用することができたら良いと思う。</p>	<p>同上</p>

17	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	料金が一番大事。そしてどこで返却できるかがユーザーにとっての便益となる。	同上
18	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	隣接している区も含めて、どこでも降りられるようにしてほしい。	将来的には周辺区との連携を視野に入れ、広域展開を目指してまいります。
19	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	行政区にしばられず、どこでも乗り降りができると、利用しやすく便利だと思う。	同上
20	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	駐輪場の確保ができるのか気になる。	コミュニティサイクル事業の実施に当たっては、ご指摘の通り、道路や駐輪場など、インフラの整備も並行して行う必要があると考えており、本計画でも施策として位置付けております。
21	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	ただの交通手段として乗ればよいと言うより、乗るのが恥ずかしいようでは乗りたくないと思う。そのため、利用者はデザインや管理の状態にこだわると思う。千代田区は坂が多いので、電動でないと思わないと思う。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
22	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	かっこよくなければ若者に受け入れられない。	同上
23	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	自宅から駅までの利用や、自宅～学校間の送り迎えでの利用では、家用でなければ自転車の需要が多くないと思う。	コミュニティサイクル事業では、自宅から駅までの利用に限らず、区内各所にポートを整備することで、来訪者等も利用対象とし、区内全体の回遊性の向上を図ります。
24	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	千代田区は、坂が多く、高齢者の自転車利用は難しいです。区内在住で区内への通勤者も、専用駐輪場がよほど自宅近くにない限り利用しないと思います。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
25	在住	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	千代田区でのコミュニティサイクルは財源の無駄遣いに終わると思います。むしろ区内の全駅にエレベーター・エスカレーターを設置する方が、区民のみならず千代田区に出入りする人の公共交通の利用を促し、自動車利用を減らす効果があげられると思います。	コミュニティサイクル事業では、CO2排出量の削減や環境意識の向上とともに、回遊性の向上によるまちの魅力向上や観光・地域の活性化、自転車の共有による放置自転車の削減、さらに健康増進など幅広い効果が期待されます。
26	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	借りたいときに無いようでは困る。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
27	在勤	2-2-② II-3-c コミュニティサイクル事業の実施	コミュニティサイクル事業の必要を感じる。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。

28	在勤	2-3-② Ⅲ-1 都心の低炭素化と地方の活性化の両立	地方との連携を行うのであれば、バイオマスエネルギーの積極的な活用についても連携を図っていくべきである。 地方がバイオマスエネルギーの活用を図るのであれば、区として積極的に支援したり、電力会社へも地方でのバイオマスエネルギーの活用について積極的に働きかけるなどして欲しい。 特に、姉妹都市である孺恋村とは、バイオマスエネルギー発電等について電力会社を交え協議してはいかがか？	地方との連携方策につきましては、ご提案いただいた発電事業なども含め、引き続き検討してまいります。
29	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	他の自治体との協力例はわかりやすいですし、良い取り組みだと思えます。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。
30	在学	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	千代田区で削減の限界があるのであれば、環境に取り組む目標があれば地方都市に千代田区が環境に取り組む姿勢を表に出すことは必要だと思う。地方都市が環境に取り組むもともになると思う。	同上
31	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	地方と連携することにより、お互いの不足を補うのは意味があると思う。	同上
32	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	日本の中心地の東京、それも千代田区は国のいろいろな機関もあるため、日本を代表して対策に取り組み、他の市や町に広める必要があると思う。	同上
33	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	便利な生活、活動を享受するために比較的大量のCO2を排出し電力を消費してる分、金銭的負担は必要と思います。	同上
34	在住	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	地域特性により、代替の手段をとるのは当然だと思う。ただ、見えないところでオフセットされていると、これ以上地元で努力する余地はなしになってしまう危険がある。具体的に何をどのようにしてオフセットしているのか、周知していくことが大事。	区のさまざまな取組みを推進していく中で、地方との連携についても、積極的に周知・発信していくことが重要であると考えています。
35	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	連携を進めるといっても、具体的なイメージがわからない。カーボンオフセット方式でしか千代田区のCO2削減ができないとしても、区民全体で何か取り組む方法も工夫すべき。	ご指摘のとおり、CO2の削減にあたっては、千代田区全体での取組が非常に重要であると考えております。 一方で、千代田区はエネルギーの大量消費地でありながら、エネルギーの供給を地方に依存していること、また、各種対策をもってしても、自区内でのCO2削減には限りがあること等から、地方との連携を図りながら、CO2の削減を進める必要があると考えます。

36	在住	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	本当に意味があるのか、またその必要性がわからない。数字だけのつじつま合わせは意味がない。	千代田区はエネルギーの大量消費地でありながら、エネルギーの供給を地方に依存していること、また、各種対策をもってしても、自区内でのCO2削減には限りがあること等から、地方との連携を図りながら、CO2の削減を進める必要があると考えます。 実施にあたっては、取組が区民の皆様にもご理解いただけるよう、わかりやすい情報の発信に努めてまいります。
37	在住	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	昼間人口のほとんどが他区・近県の方であるなら、逆に受け入れ先として資金を徴収するのが話の筋道ではないか。	CO2を大量に排出している業務部門においては、建物の単体対策やエネルギーの面的な対策等の推進により、大幅な削減を目指しております。 一方で、千代田区はエネルギーの大量消費地でありながら、エネルギーの供給を地方に依存していること、また、各種対策をもってしても、自区内でのCO2削減には限りがあること等から、地方との連携を図りながら、CO2の削減を進める必要があると考えます。
38	在住	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	その資金で千代田区内のCO2の削減に少しでも取り組むべきであり、お金で解決するという発想はいかがなものかと思う。	ご指摘のとおり、CO2の削減にあたっては、千代田区全体での取組が非常に重要であると考えております。 一方で、千代田区はエネルギーの大量消費地でありながら、エネルギーの供給を地方に依存していること、また、各種対策をもってしても、自区内でのCO2削減には限りがあること等から、地方との連携を図りながら、CO2の削減を進める必要があると考えます。
39	在勤	2-3-② Ⅲ-1-a 全国一森林面積の大きい「高山市」と連携した森林整備プロジェクト	千代田区は千代田区のことをやるべき	同上
40	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	面倒な手続きをしなければ診断を受けられないとなると、申込みはしないと思う。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
41	在学	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	申込みが区役所や公共施設以外(秋葉原や近所の電気屋など)できると良いと思う。	同上
42	在住	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	まず申込みや診断を受けたいと思うかなので、受付時間やウェブ上で申込み可能かどうかポイントになる	同上
43	在住	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	気軽に診断してもらえるなら受けてみたい。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。

44	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	簡易であれば尚良い	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
45	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	家庭の管理は女性が行っていることが多く、訪問を受けるとなると平日の昼間が多いと思う。男性の訪問には抵抗がある。	同上
46	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	診断をしていただき、各家庭で省エネを効果的に進める機会となることは、大変重要と思われるが、単に診断をしていただくのみでは、受け入れ家庭が限られてしまう。知識を得るというメリットだけでなく好事例を発表する機会の創出等、区民が一体となって省エネを進める機運が高まると思われる。	事業の実施にあたっては、区民の省エネ意識の向上につながるよう、周知方法等も含め、検討してまいります。
47	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	具体的なモデル例などでメリットを明確化されると、受診に積極的になると思う。	事業の実施にあたっては、専門家による省エネ診断の効果をわかりやすく周知していくことが重要であると考えています。
48	在住	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	アドバイスの内容を充実したものにし、なぜ専門家が必要なのかを伝えることがポイントになると思う。また、経済面でのメリットがわかれば実行したいと思える。	同上
49	在住	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	専門家が訪問する際、その信頼性も懸念される(なりすまして入るなど)。	訪問にあたっては、統括団体による研修等を受講した団体所属のアドバイザーが、東京都発行の「登録証」を持参して伺います。
50	在勤	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	スマートメーターを普及させ、数値に基づいた診断が早くできるような施策が必要だと思う。また、個別の家庭だけでなく、グリッドの地区ごとのエネルギー診断も併せて行える制度設計も必要だと考える。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
51	在住	2-3-② Ⅲ-4-d 家庭向け省エネ診断の推進	家庭に対する啓蒙は進んでいる。家庭での省エネより、法人や事業者の省エネ対策のほうが重要だと思う。この施策の費用対効果は低いと思う。	業務部門については、建物の単体対策やエネルギーの面的な対策等により、CO2の削減を図ることが重要だと考えておりますが、家庭部門においてもさらなる普及啓発による取組みが必要だと考えます。
52	在勤	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	手続きの簡易さが重要だと思う。気軽に申し込めて、内容が分かりやすければ、多くの人に受け入れられる。	ご意見として今後の参考とさせていただきます。
53	在学	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	秋葉原や近くの電気屋でLED電球を提供してもらえると良いと思う。	同上
54	在勤	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	具体的に何が提供されるのか、また導入による省エネ効果を明確にされると良いと思う。	詳細なアドバイスについては、家庭向け省エネ診断の活用を想定していません。
55	在学	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	高齢者や障がい者の方には、区のアドバイザーが必要だと思う。	同上

56	在住	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	LED取替えによる省エネ効果を具体的に数値等で示してもらえると、電球を交換するモチベーションが上がる。	同上
57	在住	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	今使っている電球が切れたらLED電球を取り入れたいと思う。しかし、値段も少し高めだし、今住んでいるのが自分たちの家ではない。ずっと使えるメリットを考えても、電球でもいいかと思ってしまう。LED化したいと思うのでとても嬉しい。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めてまいります。
58	在勤	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	わかりやすいアンケートに回答することで、省エネに対する個人のスキルアップが期待できる。	同上
59	在住	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	LED電球をいただき、それを従来の電球に置きかえれば省エネに貢献できる。	同上
60	在住	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	これは利用してみたい。	同上
61	在勤	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	LED電球の種類が目的や環境に合わないと、結局返却することになる。	提供するLEDの種類も含め、区民の方にとって利用しやすいものとなるよう、内容の検討を進めます。
62	在住	2-3-② Ⅲ-4-e LED導入促進事業	電球の種類をいくつかの中から選べるようにした方が良い。	同上
63	在勤	2-3-② Ⅲ-5-a 「視察・研修ツアー」の構築	P46の「視察・研修ツアー」の構築は具体的にどのようなツアーを想定しているのかわかりません。具体的な研修ツアーのスケジュール、訪問先を挙げてもらえるとわかりやすいかと思います。	「視察・研修ツアー」につきましては、区内に多数存在している先進的な環境配慮事例を対象に、民間企業や区内団体等と協力しながらパッケージ化を行い、区内外のさまざまな立場の人たちが、学び、体験できるツアーを目指しています。